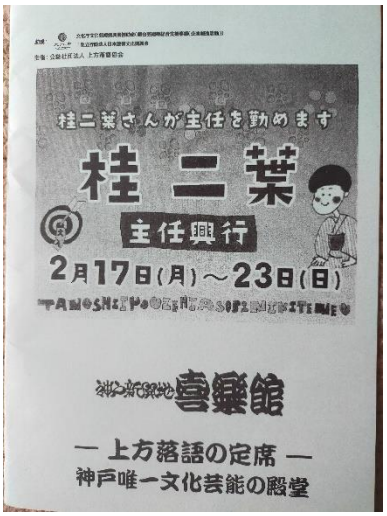
第二回神戸新開地・喜楽館　落語観賞会の実施報告

二回目となる「神戸新開地・喜楽館　落語鑑賞会」を、2 月 21 日（金）午後に開催しました。 今年も全国で大雪のニュース、神戸でも小雪がちらつきそうな寒い日でしたが日、ご家族ご友人含め 16 名が参加されました。



神戸新開地駅を出てすぐ近くの“喜楽館”。
昼席は、喜楽館のメインとなる定席寄席公演で、出演者は前座さんと６人の落語家、１組の色物（漫才・マジック・歌謡など）で構成されています。
今回の出演者は、桂弥壱、月亭太遊、笑福亭仁福、桂米團治（仲入り）桂三扇、桂健枝郎、桂二葉の皆さん。
特に今回は、人気女性落語家で、“探偵ナイトスクープ”の探偵でもある、桂 二葉さんが初めて 1 週間通しでトリを務めるということで、全日満員御礼、大盛況の昼席となりました。
我々は、団体鑑賞で早めに予約できるため、中程のとても見やすい席で生の落語を楽しむことが出来ました。
色物は、笑福亭仁福師匠が少し変わった大笑いできる“南京玉すだれ”で熱演。仲入りには、故 桂米朝師匠の息子さんで上方落語協会副会長でもある桂米團治師匠は、得意ネタ“質屋芝居”を三味線にあわせ全身での熱演でした。
トリは、お待ちかね、二葉さんの“くしゃみ講釈”。つい最近、テレビの情熱大陸で「頭の上に青空が広がっているアホ。爽やかで、応援したくなるアホ」と紹介されたのことに、大いに納得できました。

今日の演者と演目

終演後、集合写真を撮っていただけました。落語鑑賞後だけあって、とてもすてきな笑顔の集合写真です。

追加情報）
二葉さんの Youtube チャンネルに当日の様子がアップされています。ご覧ください
https://www.youtube.com/watch?v=Rgx1bKg2wwA

参加者の皆さん

加納憲彦さん(2 名)、西村 元信さん(2 名)、湊口 衛さん(2 名)、八塚 康憲さん、友國 健司さん、西野 信夫さん、酒本 猛さん、入田 泰壽さん、篠崎千昭さん、塩出芙美絵さん、 幹事)吉田達司(3 名)

(報告:吉田達司)

開演前、人気者の二葉さんの登場

お迎えの一番太鼓

終演後の記念撮影